



2023年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社 ヒラノテクシード
代表者名 取締役社長 岡田 薫
(コード番号 6245)
問 合 せ 先 取締役兼執行役員 原 昌史
総務部門管掌
(TEL 0745-57-0681)

長期ビジョン2030策定に関するお知らせ

当社は、将来の目指す姿とその実現に向けた取り組みを定めた「長期ビジョン2030」を下記のとおり策定し、本日開催の取締役会で決議のうえ確定いたしましたのでお知らせいたします。

長期ビジョンでは『塗工機のグローバル・リーディングカンパニー ～安定収益基盤の確立を通じた企業価値向上～』を目指し重点テーマに取り組むこととしております。

記

1. 長期ビジョン策定の背景

2023年は現中期経営計画の最終年度であります。コロナ禍、脱炭素社会、DXの急速な進化等、当社を取り巻く市場環境は大きく変化しております。

そこで、企業活動を通じて社会に貢献し、更なる成長を続けるために、改めて、トータルコンセプトである『人と技術と未来を創る』を軸に、目指す姿とその実現に向けた基本方針及び成長戦略を示し、ステークホルダーの皆様と共有することが、企業価値向上に取り組むために重要であると考え、長期ビジョンを策定するものです。

2. 成長ステージ

S t a g e 1 (～2023年度) : エネルギー分野でのシェア拡大
S t a g e 2 (～2027年度) : 収益性・生産性の向上
S t a g e 3 (～2030年度) : 新技術の開発・展開

3. 2030年度 計数目標

売上高	営業利益率	ROE
600億円	12%	10%以上

以上

長期ビジョン2030

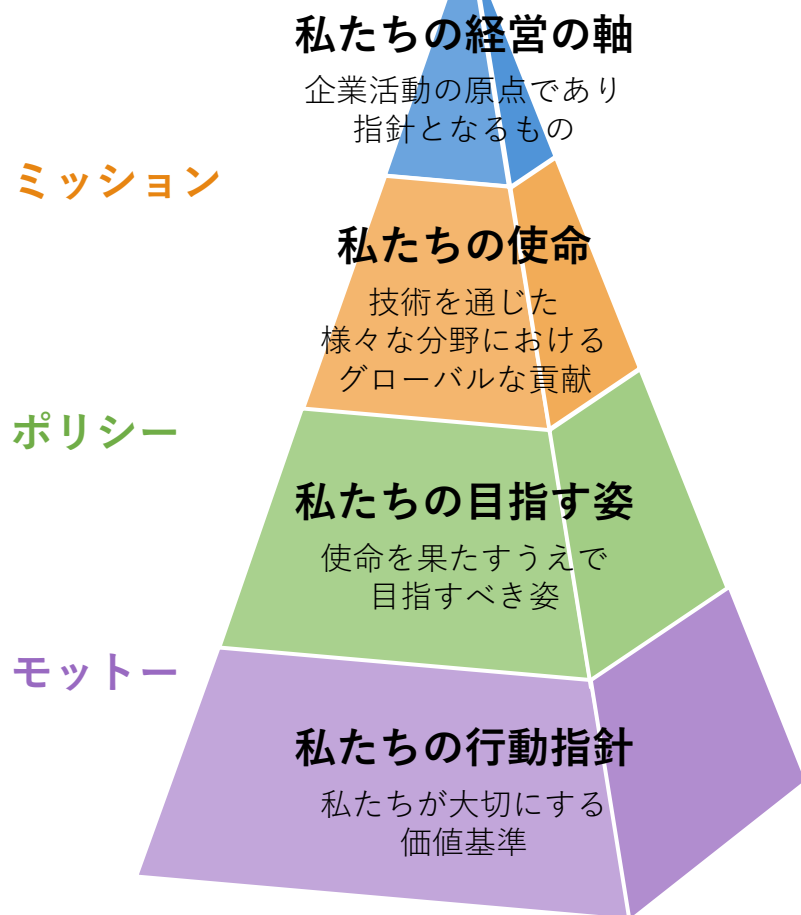
2023年5月12日

目次

- i. 経営理念
- ii. これまでの価値提供の歩み
- iii. 当社を取り巻く事業環境
- iv. 長期ビジョン2030 ～ 目指す姿／計数目標／成長イメージ ～
- v. 中長期-成長ステップ
- vi. 基本方針：重点取り組みテーマ
- vii. 価値創造プロセス
- viii. 資本政策

企業活動を通じて社会に貢献する

トータルコンセプト



“人”と“技術”と“未来”を創る

“ロール to ロール”の技術で世界に貢献する

最新の技術で、最善の創造
最適な製品で、最大の信頼

働きがい・生きがいを大切にする経営

これまでの価値提供の歩み

時代ごと先端分野にて“ロール to ロール”で高付加価値化を実現

当社の強み/ 競争優位性

■ 塗工技術

- 高精度で薄く均一に塗工
- 素材・用途に応じた乾燥

■ 顧客生産性への貢献力

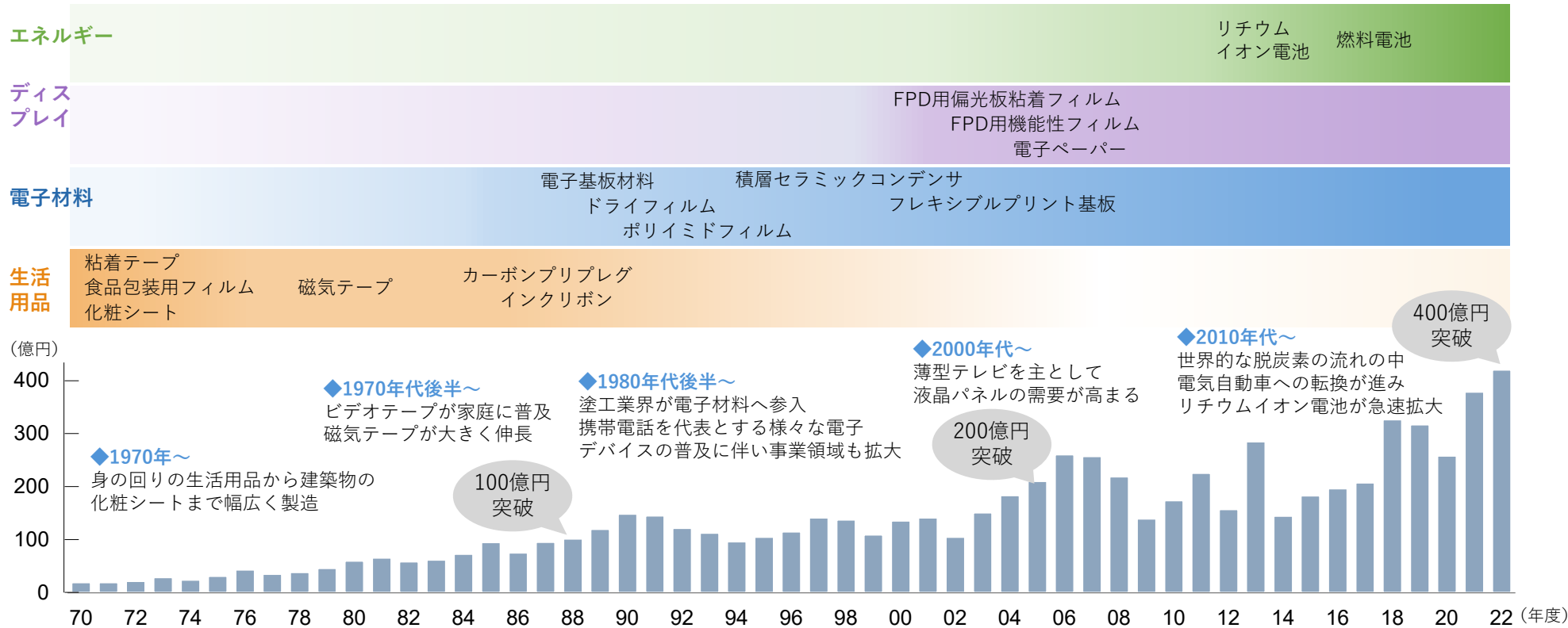
- 高速稼働×大型化
- 安定稼働・歩留りの高さ

■ 顧客基盤・納入実績

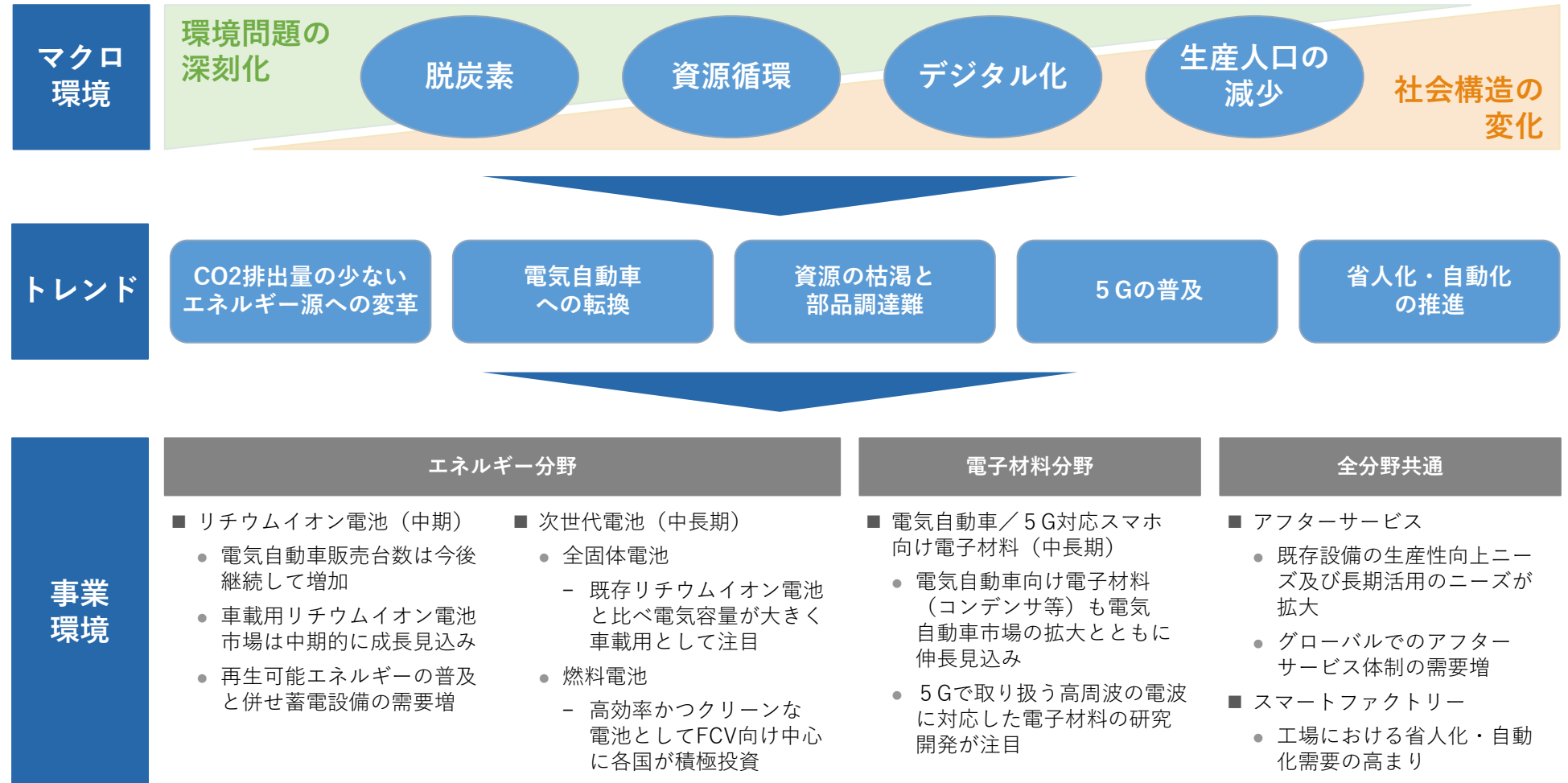
- テクニカム※での技術提案
- 世界トップ企業との共同開発

※テクニカム…研究実験施設

◆ 経年で見ると分野別製品と売上高の推移



環境変化を踏まえ成長市場へと事業領域を拡大



2030年度 私たちの目指す姿

**塗工機のグローバル・
リーディングカンパニー**

～ 安定収益基盤の確立を通じた企業価値向上 ～

- 先端分野：エネルギー／電子材料における市場シェアNo.1
- 営業～製造～保守まで海外ネットワーク拡充によるグローバル化
- 塗工技術による産業発展および地球環境への貢献

2030年度 連結計数目標

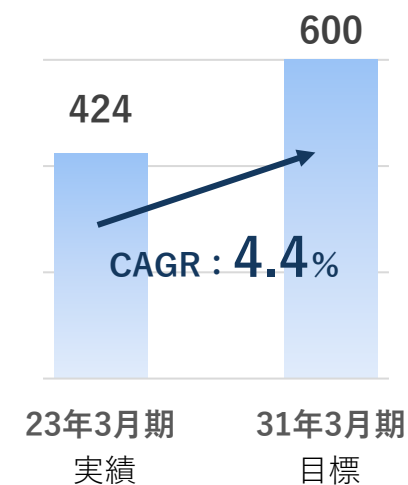
売上高
600億円

営業利益率
12%

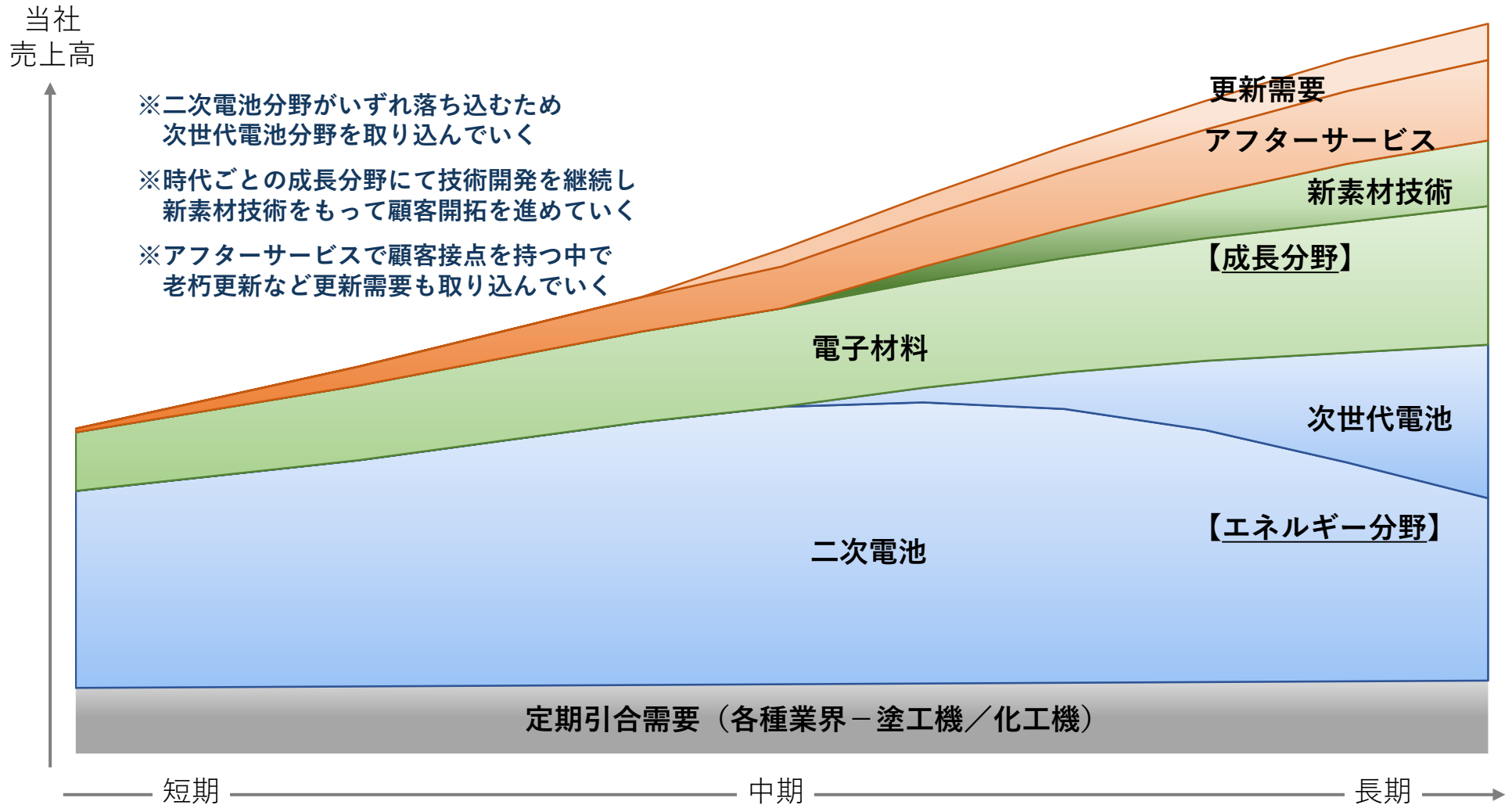
ROE
安定して **10%**

経営指標	2022年度_実績	2030年度_目標
売上高	424 億円	600 億円
営業利益率	7.3 %	12.0 %
ROE	6.4 %	10.0 %

売上高 (億円)

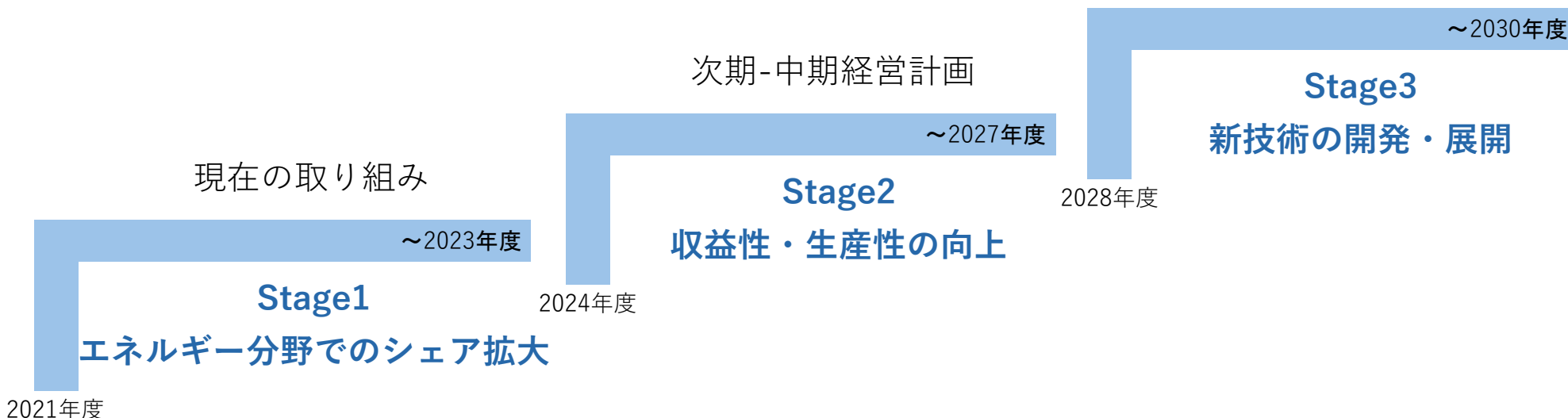


時代ごとと先端分野での技術開発を通じて持続的成長



中長期-成長ステップ

エネルギー分野 + 成長分野を主軸とした事業成長



長期ビジョン2030『基本方針』

- | | | | |
|---|-----------------|---|-----------------|
| 1 | 標準化・量産化の強力推進 | 4 | スマートファクトリー技術の追求 |
| 2 | カスタマーサービス体制の充実化 | 5 | 市場ニーズの具現化・事業開発 |
| 3 | グローバル展開の継続強化 | 6 | 人的資本の拡充 |

基本方針：重点取り組みテーマ

安定収益基盤の構築に向けた重点取り組みテーマ

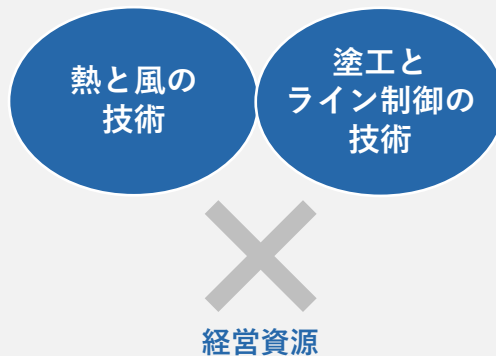
1	標準化・量産化の強力推進	標準仕様化・量産モデル化を推し進め、原材料費および社内工数の削減により製造原価を低減、全社収益性を向上
2	カスタマーサービス体制の充実化	開発～製造～据付・付帯工事～試運転～生産立上～保守までワンストップでの顧客貢献サービス体制を確立
3	グローバル展開の継続強化	北米・欧州・アジアを中心に、現地パートナー企業とも連携しつつ営業・製造・保守を含めた海外ネットワーク体制を引き続き拡充
4	スマートファクトリー技術の追求	リモート技術を中心とした予知保全・トラブルシューティング、顧客工場での省人化・自動運転・生産性向上に資する技術を強化
5	市場ニーズの具現化・事業開発	次世代成長分野における高機能化・産業技術発展に貢献すべく当社コア技術をベースに他社に先駆けて事業開発
6	人的資本の拡充	当社強みである技術者を中心に従業員を育成・拡充し、多様な人材が働きがいをもって活躍できる職場環境・組織風土を構築

事業を通じた社会貢献によるサステナブルな企業価値向上

外部環境認識

- 環境問題の深刻化
 - エネルギー改革
 - 激甚化する災害への対応
 - 資源循環社会
- 社会構造の変化
 - 少子高齢化による生産人口の減少
 - 価値観・働き方の多様化
 - デジタル化
- 企業の社会貢献
 - 企業の社会的責任の重要性
 - ESGの高まり

当社の強み



財務資本	◆ 強固な財務基盤
知的・製造資本	◆ 塗工技術 ◆ 豊富な装置化技術 ◆ 技術統括と基礎技術確立を担うテクニカム
社会関係資本	◆ 世界トップ企業との共同開発 ◆ 対話重視で関係強固なサプライチェーン
人的資本	◆ ヒラノマインドの浸透 ◆ ヒラノアカデミー ◆ 働き方改革

“ロールtoロール”の技術で世界に貢献する

長期ビジョン2030

目指す姿	塗工機のグローバル・リーディングカンパニー
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 標準化・量産化の強力推進 2. カスタマーサービス体制の充実化 3. グローバル展開の継続強化 4. スマートファクトリー技術の追求 5. 市場ニーズの具現化・事業開発 6. 人的資本の拡充

アウトプット

財務価値	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上高：600億円 ■ ROE : 10%
非財務価値	<ul style="list-style-type: none"> ■ 持続可能な地球環境への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ● CO2排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> - 太陽光発電導入により2021年度は前年比▲37% (売上高百万円当たり) ● 保守サービス事業強化による設備の長寿命化 ■ 価値創造の基盤となる人的資本への積極投資

人と技術と未来を創る

持続成長に必要な投資は確保しつつ株主還元を充実化・安定化

成長投資

■ 戦略投資

- テクニカム(研究実験施設)の充実化
- スマートファクトリー技術の強化
- リモート・省人化・自動運転技術の強化
- グローバルでの調達・生産体制の拡充
(国内外パートナー企業を含めて)
- 工場インフラへの投資
- アフターサービス体制の拡充
- 次世代成長分野における技術開発・事業化

■ 基盤強化

- 人的資本の拡充（技術者育成、働き方改革等）
- 業務効率化に繋がるシステム投資
- 環境負荷低減に繋がる設備投資・技術開発

株主還元

■ 株主還元

- 現在の1株当たり配当金額は最低限維持しつつ、配当性向は35%以上を確保
- 資本効率を重視してROEの向上・安定化に注力
- 株価動向により自社株買いの実施も想定
- 成長投資に必要な資金を確保しつつ、株主還元の充実化・安定化を図る方針

1株当たり配当金

